

浅口市立金光小学校 令和6年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和6年10月18日公表

全国学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科は、全国平均を上回っており、「書くこと」「読むこと」の正答率が高い。無回答率が低く、自分の考えを書こうとする姿がみられる。 ○算数科は、全国平均を上回っており、「数と計算」「図形」の領域で正答率が高い。記述式の正答率が高く、自分の考えを明確にして書く力が身に付いている。 <課題> ▲国語科では、同音異義語の漢字、条件に合わせて自分の考えをまとめて書くことに課題がみられる。 ▲算数科では、「変化と関係」の領域で全国平均は上回っているものの、速度の問題での理解が十分ではない。	<成果> ○規則正しい生活習慣や、家庭学習の習慣が身に付いている。放課後や週末に家で勉強や読書をして過ごす回答した児童が全国平均より約20%高い。 ○人が困っているときに助けたい、人の役に立ちたいと思っていると回答した児童が多く、社会参画への意識が高い。 ○授業で週3回以上タブレットを活用しており、ICT 機器の使用が日常化している。 <課題> ▲平日に長時間メディアを利用している児童が多い。 ▲タブレットの活用はできているが、自分に合わせた活用は十分ではない。

岡山県学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○基本的な四則計算は、正確にできるようになっており、計算力の向上がみられる。 ○5年生の国語科・算数科は、すべて岡山県平均を上回っている。 ○4年生の算数科の基礎は、岡山県平均を上回っており、学習の定着が感じられる。 <課題> ▲算数科では、問題文の情報の中から必要な情報を読み取り、問題を解くことに弱さがみられる。 ▲小数や分数、単位の換算、大きな数の概念、身近にあるものの量感の理解が不十分である。 ▲国語科では、主語・述語、修飾語など「言葉の特徴や使い方に関する事項」の理解が十分ではない。 ▲条件に合わせて、文章を作成したり、自分の考えをまとめて分かりやすく書いたりすることに課題がある。	<成果> ○朝食を毎日食べている児童の割合が高い。 ○人の役に立つ人間になりたいと思っている児童や、将来の夢や目標をもっている児童が、82%いる。 ○自分で決めたことをやり遂げようとしたり、難しいことでも失敗を恐れないで挑戦したりしている児童が多い。 <課題> ▲自分で課題を見つけて取り組む学習は、あまりできていない。 ▲将来のことについて、家の人と話をできていない児童が多い。

改 善 策
学 校 で の 取 組
①みんなで守る学習規律 ・心構え（チャイムの合図を守る。） ・身構え（姿勢「ピン・ピタ・グー」） ・物構え（忘れ物をなくす） ・教室環境を整える。 ・話し方・聴き方・発表の仕方 ②分かる授業づくり ・主体的・協働的学びとなる授業改善と、主体的な学びを促進するめあて設定の工夫 ・ICTの効果的な活用 ・板書の工夫 ・ノート指導の充実 ・「金小学びのスタンダード」の実践 ③基礎・基本の定着のための取組 ・主体的な学びの実現 ・苦手分野の復習（朝学習の時間・チャレンジタイム） ・読書活動の充実 ・「早ね・早起き・朝ごはん 金光!学力アップ大作戦」（生活習慣）カード ④総合的な学習を中心とした「主体的・協働的に問題を解決できる力」の育成 ・相手意識や目的意識をもった表現活動をする。 ・思考ツールを活用し、考えを深めたりまとめたりすること。 ・自分の考えをもつ時間や目的に応じた書く活動や言語活動、考えや意見を共有し深める時間を設定すること。
一 貫 教 育 金 光 学 舎 で の 取 組
○中学校の定期試験期間に合わせて家庭学習強化週間（「家庭学習がんばりカード」）を実施して、学習・読書習慣の確立を図る。 ○生活習慣強化週間「早寝・早起き・朝ごはん 金光!学力アップ大作戦」を行い、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の改善・定着を図る。 ○金光地区学校運営協議会の目指す子ども像「広い視野と思いやりの心をもった、心身共に元気で明るく前向きな子」を設定し、共通理解のもと各教科・領域において連続した取組を実践する。 ○浅口市小・中学校「クロームブック学年別スキル表」を活用し、各学年で系統だった指導を行う。
家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い
○家庭での生活リズムの向上 ・家庭での時間の使い方や、メディア利用の家庭でのルールづくりを子どもと一緒にいきましょう。「早寝・早起き・朝ごはん 金光!」を活用し、現在身に付いている規則正しい家庭生活が継続できるよう支援をお願いします。